



題字・イラスト：会員 加藤 比呂志

# 紺 碧

早稲田大学校友会 調布稲門会

調布稲門会 会報
2008.6 No. 28号
事務局 調布市下石原3-62-1 堀紙管轄内
Tel 042-498-0218
Fax 042-487-1154
編集責任者 香山 弘之

## 第27回 調布稲門会 総会

副幹事長 舞木 孝治

5月17日(土) 調布市文化会館 たづくり 12階大会議室にて、会員・準会員53名、来賓30名を迎え、盛大にとり行われました。

諸先輩方が築き、育て上げてきました調布稲門会も27歳の青年期に達し、年々力強さを感じる総会になりました。

来賓として母校早稲田大学より藁谷理事、佐々木広報室副室長、よき永遠のライバル 調布三田会、白門の中央大学、近隣12稲門会の役員の方々に、ご列席いただきました。



河野瑠美会長より母校早稲田大学125周年記念の寄付金について、調布稲門会として目標の81.5%を達成、学業成績に例えれば“優”の評価。ご理解とご協力を頂いた会員並びに調布市在住校友に、会を代表して謝意を述べられました。

総会議案は原案通り承認され、ご出席の来賓代表からご挨拶を頂きました。

藁谷 早稲田大学理事はご挨拶の中で、大学が創立125周年の歴史を刻み、第二世紀、第二の建学に歩み出した。日本の早稲田にとどまらず、世界の早稲田に発展を期す。ニューヨーク、ソウル、北京に海外拠点を増やす。ブラジル移民100年を記念して、

現地で盟友慶応義塾と野球の早慶戦を行う等、新たな活動を語られた。

今年はよきライバル慶応義塾大学が創立150周年記念を迎えます。寄付金については出したい人が出せばよいと・・・なんと流石はケイオー、もっとも一万円札のお顔は福沢先生、お金には深い々々ご縁があるようです。

講演会では校友の元日本テレビアナウンサー白石旺子さんが「豊かなコミュニケーションは小さな勇氣から」のテーマでお話された。(講演内容は別稿)

懇親会には長友市長もご出席頂き、アトラクションはご存知のビンゴゲーム、沢山の景品が用意され、会場の皆さんは久しぶりに童心に帰り、楽しいひと時を共有しました。



今年の総会で特筆されるのは、例年先に先立ち行われる“物故者への追悼セレモニー”が無かったことでした。即ち、よろこばしいことに、この一年間には亡くなられた会員がゼロということで、総会の当日までに事務局への連絡がありませんでした。

来年も是非、健康に留意されゼロであることを願っております。

### 創立125周年記念募金最終報告

副会長 募金担当 川島 義幸

2008年3月末を以て募金活動は終了いたしました。  
以下母校の資料により報告いたします。

{調布市関係募金状況}

校友金額	348件	29,861,608円
団体金額	2件	1,189,980円
法人金額	7件	1,570,000円
合計	357件	32,621,588円

大学からの依頼額 40,050,000円に対して81.5%の達成で、三多摩26稲門会の中では9位でした。

因みに東京23区は2,765,659,042円 118.4%の達成、三多摩合計は 601,390,270円 97.0%の達成でした。

【上記の説明】

1. 大学の各地区に対する依頼額(目標)は、10年前の在住校友者数・校友会費納入者数・法人数を基準に設定。
2. 三多摩地区で母校からの依頼額が4千万円以上は①八王子②町田③武蔵野④西東京⑤調布
3. 達成金額3千万円以上では調布は5位と健闘。

4. 合計の件数357件は三多摩地区4位で調布の校友の参加人数は多い。
5. 団体は調布稲門会のことで、目標100万円を大幅に超えて1,189,980円を達成出来た。これは会員・準会員の皆様による寄付、同好会有志の寄付、イベント時の剰余金、ポスティングによる経費節約などによる積立金です。
6. 調布に本社を置く法人の寄付は7件で2位、金額ベースでは8位と健闘。
7. 達成率の順位は1位の立川の76%にははるかに及ばないものの9位と健闘した。
8. 大学の目標額200億円は「達成の見込みが立った」(大学当局の話)とのことです。

終りに、調布稲門会会員・準会員の皆様、調布市在住の校友の皆様、法人代表の皆様、大学募金担当の皆様、河野会長をはじめ関係者の皆様、絶大なるご支援とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

募金担当 川島義幸・大谷暢廣・椎原大典・竹下哲生

### 2008稲門祭に是非ご参加を!!

稲門祭実行委員会

今年の稲門祭は10月26日(日) 西早稲田のキャンパスをメイン会場に種々のアトラクションや模擬店を用意して、皆様のご来場をお待ち致します。

昨年の福引抽選にはベンツの乗用車をはじめ数々の景品が当たりました、本年も豪華な景品が予定されています。



去る5月17日「調布稲門会総会」で稲門祭記念品を購入しセットの福引抽選券を入手された方は稲門祭当日、14時までには所定の投票箱に抽選券をお入れ下さい。(詳しくは同封のパンフレットをご参照下さい)

当日も大隈講堂前ほかで稲門祭記念品を販売致します。ご購入の際は係員に「調布稲門会所属」とお伝え下さい。(調布稲門会の売上げにカウントされません)

尚、会場には「稲門祭記念品」以外の物品を扱っているテントも数多くありますのでご確認のうえ、ご購入願います。

(第27回 調布稲門会総会 講演概要)

『豊かなコミュニケーションは小さな勇気から』

日テレ学院 講師  
拓殖大学(外国語学部)講師

白石 旺子 氏

今、いろいろな人々が気にされているコミュニケーションについて、私の狭い体験ではありますが、それを通してお話させていただきます。

コミュニケーションというと、何か難しいことのように思えますが、人と人との関係は全てコミュニケーションと言っても良いのではないのでしょうか。

私が社会に出たのは昭和42年、大学の中は騒然とした時代でした。4年間通った大学も、私の場合は勉強よりもサークル活動(アナウンス研究会)での思い出が大きかった様に思います。

日本テレビに入社した当初を振り返ってみますと、テレビ局が開局してまだ14年しか経っていない時期でした。昭和28年にNHKと日本テレビが、テレビ放送を開始しました。街頭テレビをご記憶の世代の方も居られると思いますが、テレビに意欲と活気のある時代でした。今、テレビというと厳しい批判を浴びる出来事が多く、OGの一人として恥ずかしく思うことがあります。あの頃は皆やる気いっばいで、何か未来に向けて新しいことが出来るのではないか、世の中に役に立つことに関われるのではないか、そんな思いで仕事をしていました。

入社当時は新聞のテレビ欄に「カラー」と態々表示がされているような頃でした。同期のアナウンサー5人中、テレビを持っていたのは自宅から通っている2人だけで、あとの3人は部屋にテレビはありませんでした。私も下宿近くの叔父の家に行った折、食い入る様にテレビを見ていました。そんな中でテレビのアナウンサー試験を受けるなど、おこがしい上に、図々しいことと今なら思いますが、当時は何の不思議もありませんでした。一人暮らしの下宿の部屋にテレビがあるなどという贅沢が許されるのは、特別の人たちだったのではないのでしょうか？

入社当時の人間関係を振り返ると、ある意味では

余裕があり、楽しいことが沢山思い出されます。楽しいとは言っても、その当時は怖い一言でした。今と違いテレビ局は全部社員です、カメラの方、音声さん(音を調整してくれる方)、ディレクターをはじめ、美術セット、メーキャップ・・・全員が社員で、入社した私たちにとり全員が先輩でした。最初やるアナウンサーの仕事は、提供枠を読むことです。例えば「この番組は調布稲門会の提供でお送り致しました」このたった一言を言うのに震える思いでブースに入り、読んだのを今でも覚えています。アナウンサーが初めて声を出すことを、業界用語で「初鳴き」と言います。初鳴きがどんな風に来るか、鵜の目鷹の目で同業他社の方をはじめ、勿論、局の方たちは耳をそばだてて聴いていました。たった一言なのですが、なかなか上手くいかず、しょんぼりアナルームに帰ってくると、今の上司のアナウンサーなら、新人アナウンサーに「頑張ったよ、よく出来たじゃない、新人にしたら良くやったよ」ぐらいは多分おっしゃると思う。私たちの頃は入るなり「バカヤロウ!!今の読みで給料もらえるのか」先ずそれが第一声でした。「そんな読みでスポンサーから金もらえるか」・・・いろんなことを言われました。たった一言のどこをもっとどうしたら良かったのか、そのためだけに何週間も練習して臨んでいるわけですが、そんな風に厳しく言われました。その時今でも印象に残っているのは、先輩のアナウンサーから「お前さんたちのアナウンス技術はまだまだ商売になるような技術ではない。せめて着る物はいいものを着ろ。もらった給料を溜めるなんてケチな根性を起こすな」当時4年制を卒業した女性の友達から比べると多少ましでしたが、確か35000円の初任給でした。その中でいい物を着ると言われても、どうやっていい物を買えばいいのかと思いました。「着る物が貧し

いと心が貧しくなり、自信を持ってカメラの前に臨めない。だからせめて着る物だけはいい物を着ろ、自信を持って臨め」と言われました。その次に云われたことは「ボーナスや給料を溜めるな」何故かと言うと、自分磨きにお金をかける時期だから、映画、芝居、美術館・・・何でも、とにかく自分でお金を払い勉強して来いと再三言われました。35000円の給料の中、必死な思いでいろいろな所を見たり聴いたりした。それが今になると役に立っていたのだな、あの時は何ていうことを云うのだろう思いましたが、その先輩の厳しい一言は、この歳になると有り難く思い返せるのです。ところが最近の会社の事情など聞くと、上司の方が部下に気を使っている。上の方がこれほど気を使っているのかなと思うほど、皆さん気を砕いています。例えば昔なら先輩が飲みに行こうと誘ったら、何を置いても付いて行くのが当たり前でした。今の時代「すみません、今日は彼女とデートがありますから」百歩譲ってそうであっても、もう少し上手い言い訳をすればいいのにと、後輩のアナウンスの上司が言っていました。それが今の時代かなとも思いますが、一方、それは若い人だけの責任なのかなとの気もします。結局、コミュニケーションを自分と違う世代ととる為にはどうしたらいいのか、私たちの年代は非常に下手な面があるのではないかと感じる事が多い。もっと突き詰めると嫌われたくない、嫌われるより仲良く好かれてい顔して居る方が楽しい。大学で教えていて、感じることは、叱られた事のない若い子が多いということです。大学で教えるようになり今年で3年になりますが、初めての授業の後、アナウンスの学校では見たことのないような、髪の毛を茶髪どころかグリーンに染めて、ツンツンに頭が立っていて、鼻から耳からピアスを一輪つけているような男の子たちが4、5人、授業の後、私の周りを取り囲みました。気持ちの上では身構えたが、余りにも幼い質問で、最初は自分が試され馬鹿にされているのかと思った程でした。それは「先生本当に女子アナしていたんだろう」（本の教師紹介欄に書いてある）頷く私を暫し見ていて「先生、どうして僕たちのような、こんな

学校で教えるの？勿体ないよ」私は何と返事をしていいか、最初は正直、生徒たちには悪かったが、完全に舐められ試されているなど思いました。私がどんな反応をするのか。ところがそうではなく今、日テレで活躍している若いアナウンサーの名前を出し「あのアナウンサーを知っているの？ あの子達教えているの？・・・」と聞いてきて、私の答えにいちいち感心しているのです。ある意味で素直ですが、自分の学校を卑下する言葉に、私は非常に腹が立った。「自分の通っている学校のことを、どうしてそんな言い方をするのか、この学校は100年以上の歴史があり、先輩達も世界に飛び立ち、いろいろ活躍している。学校案内にも書いてあり、実際、そうなのよ、そんな先輩たちに失礼だと思わないの」「もし本心でそう思うのだったら、今から直ぐ学校を止めて、あなたが良いと思う学校を受け直しなさい。その勇気も努力もなく、現状をそんな風に言って、これから何十年も生きていかなければならない。そんな気持ちで世の中に出て行くの？」シーンとした短い沈黙、その日はそれで終わりました。一週間振りの授業の後、その子たちがまたやって来た。今度は何を聞かれるのだろうと思ったら「先生、先週の話聞いていたら、一寸考え方変えたよ、あれから帰り学校案内をもう一回読んでみたら、ブラジルやメキシコで活躍している先輩いるんだよね」「そうよ、あなたはそんなことも知らないで、この学校へ来たの」「だって高校の先生が此処に行けと行って、AO入試で入ったから来ちゃったよ」その4、5人のグループは毎週々々、授業が終わると何という事もなくそばに来て、いろんな話をしてくるようになりました。「こないだあなた達のことを、あんなに叱ったけれど怖くなかった？」「初めてなんだ、あんなに大人に叱られたのは」それは正直驚きました。「叱られたことないの？」「家に帰ってカアチャンと祿に話もしないから、叱られることもない。学校でも先生達は、俺たちに気使ってるさいことを言わない。親は早く帰ってくればいい、先生は早く卒業してくればいいと、きっとそう思っていたと思うよ。先生のように云ってくれた人、初めてだった」私が何気なく言った一

言、正直、腹が立って言った言葉でありましたが、叱られていない子供たちが増えているのだと改めて思いました。強く叱られたことがないという子が圧倒的に多い。今の親たちは余り叱らないのかと思いました。それ以降、ちょっと意識して大学では授業の中で、フリートークを盛んにさせ、思っていることを話させるようにしています。私が教壇に立つ機会を持ったのは、おそらく就職対策だと思います。少子化の中、何で学生を集めるかという、就職率が良い、就職の面倒をよく見てくれる、ということが大きいようです。私も話し方、自分の考えていることを、はっきりと皆の前で述べられるような、そういう授業をしてやって欲しいと大学側から言われた。各種学校のアナウンス・スクールなら、実践的に教えられますが、学問的なことは教えられないと申しますと、学問的ではなく実践的なノウハウを教えてやって欲しい。ノウハウはないが、とにかく任されてやることになった。若い子たちが家庭で叱られないのも当然で、会話がなると皆が言う。アナウンス・スクールでは社会人にも教えています。ある時、仙台から毎週通う東北大の学生がいました。通学の原因を聞いたら、国家公務員上級職を受験し筆記試験には合格したが、面接で落ちたとのこと。その時「そうでしょうね」と、彼にはっきりと言いました。「何を云っているのか、全然わからない上に、声が出ていない」「そうですか」ボソボソ語る。先ず家で出来ることから、起きたら「おはようございます」、出掛ける時に「行ってまいります」、帰ったら「ただいま」、何かをしてもらったら「有難うございます」。「これだけでいいから、いつもより大きな声で言いなさい」。ところが彼の口から出て来た言葉に愕然としました。「そんなこと家では云いません」頷くような挨拶を交わしていたに過ぎない。「今日から声に出しなさい。今、役人はどんな事を望まれているのか分かっているの、その世界にあなたは飛び込もうとしているのよ」5年前の話です。事情を聞くと感心な子で、両親は共働きで、半分認知症になった祖父と足の不自由な祖母を、大学に行きながら彼が面倒を見ていました。彼は難しい公務員試験を

受けるだけで、何になりたいか目標がない。「そんな人に役人になってもらいたくない」と言うと、返事がない。「でもこの為だけに大学の4年間を勉強してきた。筆記試験も受かっているし」「今年はどうしても受からないと困るのです」いろんな家庭事情も抱えていたので、理解できる面もありました。面接の特訓をして、結果は合格。でも何になりたいかもよく決まっていない。家族の老人を世話した体験、役所に相談に行った経験もある。役所の対応を聞くと、「冷やかかで、説明が分からない」と答える。「それが今の現実で、そうではない新しい役人像が求められている。あなたのような体験をしている若者はすごく少ないと思うから、私ならこの体験を活かし、厚生省(当時)を目指し勉強しようと思う」「ああ、そうですね」反応が鈍い。過去の問題集を問うと、全てコンピューターで仕上げ持って来ました。書かれたものではなく、言葉で説明するように求め、面接練習の特訓をさせ合格しました。ただ彼が役人として適材であったかどうか、喜び半分、今でも疑問が残ります。人との会話が身近な家庭の中になく、これは大きな問題です。この点について、今日の司会者で、夜間部で教鞭をとられている中野さんも同感でした。若い人たちを育ててこられなかった事は、われわれ年代の責任もあると思う。時間的にもゆとりのある世代が、子供の躰は今更出来なくても、一つ飛んだ、せめて孫の世代に、話させる、しゃべらせる、何を思っているか、話してみる楽しさを教えていけないといけないと感じています。今の子供たちは目的を持つと、それに関する知識を得ることは得意です。そこから先、自分はどう思うか、どう感じるか、それを言うチャンスがなかなかない。例えば学生達にオリンピックの聖火の問題について発表させると、事実は語るが「あなたは どう思う? 正解はないのよ」の問いに、最初は幼稚な答えしか出ないが、繰り返すうちに、少しずつ自分の考えを言えるようになる。回数を重ね訓練することが大事だと思います。先ず相手に話させることが大事です。自分ではコミュニケーション能力はあると思っている人は多いが、実は一方的に話すのは得意だが、相手

との言葉のキャッチボールがないと、コミュニケーションにならない。兎角、相手が目下だと思えば、一方的に言うことが多い。黙って話を聞くのは、ある部分辛い。何を言っているのか、脈絡が飛んでいても、ある程度聞こうと思ったら、黙って聞くことを実行すると、若い人達との会話の糸口が見えてくる。私はいろいろな事を実験させてもらっています。大学で驚くことも多いが、チャンスなので出来るだけ学生たちに、どう変化して行くかも含めて話をしてもらおう。最初は蚊のなくような声しか出ない。授業の最初の2回は、アナウンサー指導と同じ発声練習をします。初めはやる気のなさそうな、だらだらと小さな声でボソボソしゃべっている。そこで授業中、私は熊の如く教室中を歩き回り、姿勢が悪く声が出ていないと「声が出ていない。もっと大きな声で・・・」個々に指導します。段々、緊張感が出てきて、声が出るようになる。学生の中には就職の時に備え、スキルを身に付けたいとの目的で、授業を選択した者もいる。「声が出せなければ、人は聞いてくれない。就職試験ではやる気のある若者であるのか、見られているので、自分の考えていることを、はっきり言えるようにしないといけない」と、口をすっぱくして話しています。

最近では携帯がらみの事件が多い。しかし携帯にもコミュニケーションという面では面白いこともある。皆さんはどちらかと言うと、携帯には批判的な気持ちの方が多いのではないかと思えます。私もそうでした。携帯を使う息子を見て「機械に使われているようで、実際に話したほうが早い」と言っていました。今でもその気持ちに変わりはありません。携帯の業界の方と話す機会があり、ある年代以上から携帯を持った世代は、携帯より直接話した方が、コミュニケーションを取れると思っている。若い人達はその反対だと聞き、なるほどと思った。小中高校生で現在約750万台の携帯を持っている。危ないことも多く、心配で小学生に携帯を持たせる親の気持ちも分かります。携帯ではコミュニケーションの上で、いろいろ考えさせることが多いです。先般、町田稲門会の女性会合の席で、出席者の娘さんが携帯でプ

ロポーズされ、憤慨していたとの話があり、出席の仲間も同意見でした。後日、この話を社会人クラスの学生たちに投げかけて見たところ、女性は同じ意見でした。ところがその席にたった一人いた、大手商社の38歳位の独身男性が「彼の気持ちは分かる。面と向かって言った時に断られたら、どんな顔をしたらいいのか、それを考えていると思う。女性はしっかりしていて強いから平気かもしれないが、男性の方が今は気を使うのです」と話す。「気を使った結果がメールなの？」と聞き返すと、面と向かい目を見て言いたいが、一寸した勇気が足りない。気の弱い男性が増えているのかと思う。メールでもってしゃべらないで済んでしまう。先ほどの男性は米国でMBAの資格も取得、コンサルタントもしています。立派な文章を書くが、声が小さい。この点を上司から言われ、勉強に来ていたのです。何故声が出ないか、聞いてみると、驚いたことに職場がシーンとしている、とのことでした。同じ雰囲気職場が多く、私語など交わせず、コンピューターの音だけしか聞こえない。さらに驚くのは、後ろにいる同僚との食事の打ち合わせもパソコンです。一寸した約束事も「言った、言わない」と後で言われたくない。パソコン上に書き込めば必ず証拠が残る。そんな形でないと、人と人の関係が作れないのかとショックでした。言葉での会話が凄く苦手になっている。小中学生になると友達との関係がメールに偏っている。メールも直ぐ返事を出さないと「どうしたんだろう、私のこと嫌いじゃないか」と思われ、後で言われる。メールは悪いことばかりの様に聞えたかも知れませんが、一つメールの効用で実感していることがあります。時には厳しい指導をしなければならないことがあります。今の若い子は、余り厳しい事を言うと親が出てきたり、インターネット上に悪口を書いたりする。学校にとっても困ることになり、気を遣わなければならないケースが増えています。私は叱った後でメールを出すことにしました。叱ったことに対する謝りではなく、彼らの良いところ、表情、捉え方・・・具体的に指摘し評価する。短いメールでも送ります。SMAPの歌ではないが、ナンバーワンで

なくても、オンリーワンで居たい「このメールは私  
 があなたに出したのだ」と言うことが、学生達には  
 時に効果があるようです。部下や若い人を、何か叱  
 らざるをえないことが有った時に、そのフォローを  
 することに、メールは意外に役に立つなと思います。  
 その後、メールが来たり、人生相談までされること  
 もあります。友達ではない大人に、自分の気持ちを  
 分って貰いたい思いはあるし、大勢の中の一人では  
 なく、自分だけを見て欲しい気持ちは、どんな若者  
 たちにもあるのではないかと、メールを通し私なり  
 の発見をしました。メールを否定しがちな年代であ  
 りますが、使い方によってはこんな効果もあると思  
 います。また離れている孫とのメールのやり取りで、  
 親しさも増し、写真なども送れるし、このような面  
 で役立つと思い、悪い面ばかりでないと感じていま  
 「智恵子抄」より私は月1回、町田の老人ホームで  
 朗読を通してお手伝いをしています。そこには90歳  
 以上の方も多く、一緒に朗読をする最高齢は101歳  
 の男性です。元気で声も朗々としている。詩吟を長  
 くやっていたとのこと。90歳以上で元気な方は、良  
 い意味で「男性である、女性である」部分を失って  
 いない。女性はいつも綺麗に化粧をし、男性だとホ

ームの中では若い部類の私のところに来て、一寸、  
 手に触って見たり、冷かしたりする。嫌らしさがな  
 く、微笑ましいのです。こういう部分を残している  
 ことは、元気でいる秘訣かなと思っています。歳を  
 とっても元気でいることは、次の世代へ良いかたち  
 での橋渡しになると思っています。皆さんの中には、  
 電車に乗り席を譲られた経験があると思います。席  
 を譲り「大丈夫です」と、折角の好意が断られ、恥  
 ずかしい思いをしたと、若い学生から聞かされるこ  
 とが最近多いのです。日本では断る時“大丈夫です”  
 と云うのかと、留学生から質問されたこともある。  
 席を譲られたら、たとえ自分はまだそんな歳ではな  
 いと思っても、折角の好意は気持ちよく“有難  
 う”と受け止めてもらいたい。それが一期一会のこ  
 とであっても、お互い良い関係になり、若い人への  
 教えにもなる。新しいこと、今までと違うことをす  
 るのは、勇気が要ることです。若い人に求める前に、  
 われわれ年代がやって見せるのが大事なことである  
 と感じています。

最後に町田の老人ホームで一番リクエストの多か  
 った詩を読ませていただきます。



レモン哀歌

高村光太郎

そんなにもあなたはレモンを待つていた  
 かなしく白くあかるい死の床で  
 私の手からとつた一つのレモンを  
 あなたのきれいな歯ががりりと噛んだ  
 トパアズいろの香気が立つ  
 その数滴の天のものなるレモンの汁は  
 ばつとあなたの意識を正常にした  
 あなたの青く澄んだ眼がかすかに笑ふ  
 わたしの手を握るあなたの力の健康さよ  
 あなたの咽喉に嵐はあるが  
 かういふ命の瀬戸ぎはに  
 智恵子はもとの智恵子となり  
 生涯の愛を一瞬にかたむけた  
 それからひと時  
 昔山嶺でしたやうな深呼吸を一つして  
 あなたの機関はそれなり止まった  
 写真の前に挿した桜の花かげに  
 すすしく光るレモンを今日も置かう

「智恵子抄」より



## 紺碧の広場 会員エッセイ

## ポンペイを旅して

村上 誠二 (昭33 理工)

われわれが学んだ時の歴史教科書は、西洋史、東洋史、日本史と3部門に分かれ、各々独立していた。現在の歴史書は、世界史、日本史の2部門になっているが、外国と日本の年代関係を対比しているの、前後関係が良く理解できる。しかし小生は、今でもよく諸外国で起きた歴史年代と、日本の歴史年代との関係でピンとこないときがある。

高等学校の時、西洋史の先生で、ニックネームがガンジーという人がいた。大変な博学で記憶がずば抜けており、先生と生徒の挨拶が終わると同時に、黒板と生徒の間を静かに歩き、無我の境地で講義を始め、時間いっぱい話が続く。話の内容も講師師のごとく、話法、話柄に長け、あつという間に50分の授業が終わってしまった。従って西洋史を選択する生徒も多く、小生もその一人であった。その影響か、今でも西洋史に関しては大いなる興味と関心があり、機会があれば、この目で史実を確認したいと常に思っている。

社会人として通算42年間勤めた中で、外国関係の業務で24年間過ごした。その間、諸外国の遺跡等を見学する機会はほとんどなかった。歴史的遺跡の少ない東南アジアが勤務地の中心であったが、旧正月を利用して、ボロブドゥル、アンコール、スコータイ、アユタヤ、スリランカなどを見学することができたことは幸いであった。

ポンペイは現在70パーセント位しか発掘されていないが、この遺跡の中を歩いているとタイムスリップしたかのような感を抱く。そして過去への素晴らしい旅は、自分の足で歩かなければ実感できないというよろこびを感じた。

ポンペイに残された無数の遺跡と出会い、それに触れることによって、当時の人間社会は本質的に現代社会とさほど異なっていないと思った。それどころか生活に対し、より活発で積極的でしかも自然に

対してより敏感な反応を示しているように想像された。

まずポンペイの歴史を簡単に記すと、最初の惨事は紀元62年、突如としてポンペイを襲った。その恐るべき大地震でポンペイの町は、一瞬にして瓦礫の山と化した。しかし生き残った市民の不屈の闘志と生命力は、半壊した町の再建へと逸早く取りかからせ、産業および商業も速やかにその活動を再開した。そして街は以前にも増して繁栄し、かつての地震による災害も過去の出来事として人々の心より忘れ去られようとしていたその時、2回目の避けることができない運命的な大惨事が突然襲ってきた。ヴェスヴィオ山は、何年もの間、死火山と考えられていた。従ってそのなだらかな裾野にはブドウ畑が広がり、田舎家のほかに豪華な邸宅があちらこちらに建てられていた。そのヴェスヴィオ山が、紀元79年8月24日正午を少し過ぎた頃、突然目を覚まし、大爆発を起こした。3日間に及ぶ大惨劇、そして静寂。厚さ6m以上にも及ぶ火山灰が覆いかぶさった。その後その遺跡が発見されるまでに1600年の歳月が流れた。それがポンペイ発見というセンセーションを世に巻き起こすまで更に150年の年月を待ち、ブルボン家の援助のもと発掘されるのは1860年になってからである。

(アルベルト・C・カルピチエーチ著『ポンペイ』参照)

発掘された街の中を歩いてみると、まず気がつくのが道路と水道設備である。基本的にポンペイ社会は家の外で生活したり仕事をしたりするようにできしており、街路はその社会を如実に反映している。車道すなわち馬車道、歩道、雨水や汚水を流す溝、反対側歩道へ渡る飛び石台、道路の縁石には馬を係留するための穴があいており、舗装も石張りである。馬車が通った車輪の跡も石張りの上に生々しく残っている。女神に頭部の浮彫りが付いた公共水道汲み



場がふんだんに道路際にあり、当時の水道管が一部で露出していた。材質は鉛管で当時の技術の高さを示している。水道が引かれて便利になったのは公共浴場である。それまで奴隷が汗水たらして井戸から汲んで来た水を節約して使っていたが、その必要がなくなった。

公共浴場は、その需要を満たすために道路の交差点近くに設けられ、その数も随分ある。小生が見た浴場はメイン道路の四つ角にある浴場で、ポンペイで最も古く規模も大きく、良好な保存状態で残っている。建物は大きな台形の中庭の周りに建てられ、ローマ共和国時代につくられた凝灰岩の列柱が見える。男性用、女性用の浴室が別々にあり、その間に暖房装置や湯を沸かすかまどのある部屋がある。男性の脱衣所は美しく飾られ、大部屋には大理石の長椅子、衣類を置く壁棚などが残っている。その他公衆便所、プール、サウナ等、完全な設備の跡が見学できる。マリナー門から街に入ると、ポンペイの守護神であるビーナスの神殿や、公共広場が目につく。この広場で市場がたち、多くの商人や買物客で賑わっていたようだ。

メイン道路を進むと、この道につながる道はみな直角に折れ曲がっている。区画整備が行き届いており、公共の建物や仰々しい門構えの家もない。その代わりに、商店やパン屋、毛織物の作業所、居酒屋、洗濯屋が軒を連ねている。建物の壁画には業種の案内が絵で描かれている。そしてまばゆいばかりの家の中にある壁画やモザイク、すべての屋根から雨水をためる貯水槽、天窗から空を見上げることができるアトリウム、大きな庭園、そういったものが幻觉の世界へと導いてくれる。

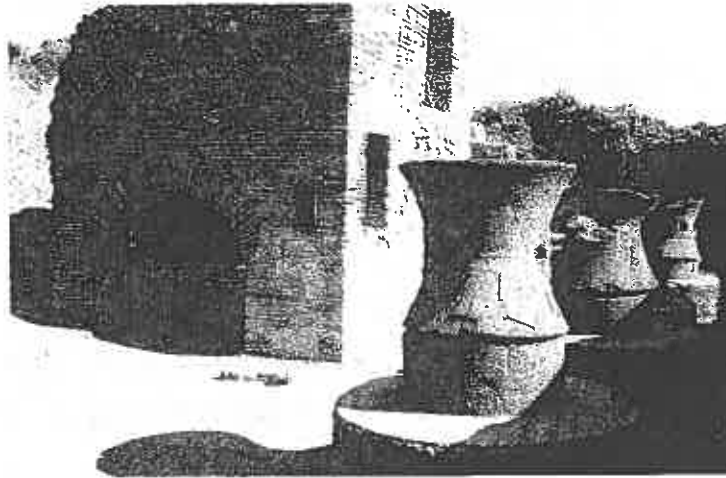
ポンペイ犠牲者の石膏は火山灰の層に残された遺体の窪みに、溶かした石膏を注いで形をとってつく

ったもので、たいへん痛々しく再現されている。

港町であったポンペイは「娼婦の家」と呼ばれた建物も発掘されている。1階はほとんど日の光が入らない娼婦の部屋であり、壁にはわいせつな絵や落書きが多く残っている。2階へは路地に突き出た通路に階段で上がり、そこから入れるようになっていた。

興味ある建物として居酒屋がある。今でもカウン

ターや食器棚や調理場が残っており、店の奥の部屋には壁画が描かれており、ブドウ酒の入った皮袋を積んだ荷車、遊び人たち、酒を飲む旅人、子供の小間使いなど。これらの絵は2000年前の居酒屋風景を生き生きと描き出している。



パン屋のひき臼とかま

パン屋はポンペイ商業活動の中でも重要な位置を占めていたらしい。現在も同じ場所に残っているひき臼やかまどなどを数多く見ることができる。このほかポンペイには5,000人の観客を収容できる大劇場、屋根付き音楽堂の小劇場、2万人収容できる円形野外闘技場など、見るべき建造物が多数ある。歴史を探るポンペイの建物は装飾のない柱頭のドーリア式、大きな渦巻きのあるイオニア式、樹の葉を装飾したコリント式、またはその混合等、随所に見られ、その深さを示している。書物によると紀元前4世紀頃から町をつくったらしい。約500年弱の歴史がヴェスヴィオの灰とともに埋もれたことになる。この時代の日本と対比すると弥生時代であり、中国においては前漢の時代である。

今回の旅ではほんの一端しかのぞいていないが、ローマ時代の高度な技術、優れた美術品、それらに描かれた遺跡にただただ驚くばかりだった。

## 我らの同好会活動

### 初夏のワングル 『金沢八景歴史探勝とシーサイドの散策』

舞木 孝治 (昭38 商)

稲門会のワングルは、副作用のない健康増進剤です。一緒に歩きませんか。

6月1日の日曜日、前日の雨模様から一転、碧く澄み渡った好天に、先ずはお天気だと安心。昨年、一昨年と雨にたたられ、「雨男」に近いイメージをここで一気に払拭。集合場所のリニューアルされた品川駅に馳せ参じ、エンジの旗で集合目印。シーサイド・ウォーキングということで、河野会長は全身白一色のUVカットで身づくろい、流石は女性会長、お肌には気を使います。

京浜急行には、特急の更に上に「快特」という速い電車があり、目的地 金沢文庫へは40分で到着。

金沢八景の選者は、中国の心越という明の僧が、故郷の風景に似ていることから名付けたといわれ、古くは景勝地、観光地と大層賑わったそうです。

八景とは「称名晩鐘」「野島夕照」「乙艦帰帆」「平瀉落雁」「瀬戸秋月」「洲崎青嵐」「小泉夜雨」「内川暮雪」・・・(案内パンフによる)

さあ出発です。初夏の強い陽ざしを受けて男性7人、女性6人 総勢13人の前期あるいは前々期高齢者の一団は、Wの小旗を先頭に歩き出しました。しばらく行くと、反対側の酒屋&雑貨店の前で、若いおにいさんから、われわれ美男・美女の一団に声が掛かりました。「ワセダですか?」「僕もワセダです」。ここにも居ました、若いワセダの稲穂が・・・流石は全国区のワセダ、「お気をつけて」の声を背に受けて前進。

称名寺の赤門に到着、金沢北条氏の菩提寺で、13世紀の中頃に建立された古刹です。金沢北条氏は鎌倉幕府執権を受け継ぐ北条氏の支流。行政手腕もさることながら、学問好きな一族として知られたようです。境内ではボランティアガイドから詳しい説

明・解説を受けるラッキーなサプライズがありました。

称名寺のすぐ隣は、鎌倉時代の武家の書庫 県立金沢文庫があり、庫内には重要文化財の釈迦如来像など、多くの重要な資料が収蔵されていました。

ボランティアガイドのご好意を受け、予定時間を少々オーバー。次の訪問地「海の公園」へ向かいました。白砂青松・・・松や芝生の深い緑と広々としたシーサイド・エリア。人工の海浜公園ですが、ここでは潮干狩りが可能で、日曜日とあってファミリーがいっぱい。

昼食をとりながら次の目的地 遠くに見える、こんもりした緑の山、野鳥公園を眺めながら、おにぎりと一緒にオゾンいっぱい美味しい空気を一年分吸い込みました。

緑の島 野鳥公園は海拔57mの山頂に、360°見渡せる展望台があり、晴れた日には丹沢、富士山、房総半島まで遠望できる絶好のビューポイント。平瀉の湾に夕日が輝く光景は、さぞ見事なことだろうと想像されます。

途中、帰り際に我がチームメイトが他のグループに混じって、置き去りにするハプニングがありましたが、笑いで済み幸いでした。

帰路は名勝夕照橋を渡り運河のほとりをそぞろ歩き・・・金沢八景駅へ向かいました。

エンディングは駅前の喫茶店で、男性は冷たい生ビール、女性は甘味で打上げ。

6kmを全員無事に歩きあげ、よき校友、よき仲間と心身ともにbrush-upする素晴らしい一日でした。

有難うございました。またの機会を楽しみにしています。

平成15年5月17日改定

## 調布稲門会会則

- 第1条 本会は調布稲門会と称し、事務所を調布市におく。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を深めると共に、地域社会への貢献に務め、早稲田大学の発展に協力することを目的とする。
- 第3条 本会は調布市に在住、在職する早稲田大学の校友をもって組織する。
- 2 校友のファミリーは準会員になることができる。
- 第4条 本会に次の役員をおく。
- 会長 1名 副会長 若干名 幹事長 1名 副幹事長 2名  
幹事 若干名 監査 2名
- 2 幹事の中に 渉外・会合・会員増強・総務・企画・会計・庶務・広報・バザーの担当幹事をおく。
- 第5条 役員は総会において会員中より選出する。
- 2 役員任期は2年とし、再選を妨げない。
- 3 前条第2項の担当幹事は、会長が幹事の中から指名する。
- 第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長をたすけ、会長に事故あるときは会長の職務を代行する。
- 3 幹事長は幹事会を司会し、母校校友会、三多摩稲門会、友好団体との連絡に当たる。
- 4 副幹事長は幹事長を補佐し、会の総合的事業計画及び会務の執行について協議しこれを処理する。
- 5 監査は業務及び会計の監査を行う。
- 第7条 本会は総会の議決により名誉会長、顧問、相談役を置くことができる。
- 第8条 本会は、毎年一回定期総会を開催する。ただし、会長が必要であると認めた時、または、会員の過半数の要請ある時は臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は会長が招集する。
- 第9条 本会の会員の年会費は3千円とする。
- 2 準会員の年会費は1千円とする。
- 第10条 本会の運営に功績のあったと認められる会員または準会員に対し、慶祝金または弔慰金を支給することができる。
- 2 慶祝金または弔慰金の支給については、会長・副会長・幹事長の合議とする。
- 第11条 本会の会計年度は4月に始まり、翌年3月に終わる。

付 則 この会則以外の必要事項は役員会で審議し、総会で決定する。

編集後記： 総会当日は、偶々、京王線調布駅付近地下工事の進む、国領駅調布より線路際の地下で見つかった、不発弾除去処理を行う前日で、今尚残る太平洋戦争の傷跡を思い出す▼地下工事はシールド工法により国領の立坑を基点に調布に向かいトンネル掘削が7月から始まる。4年後の2012年には新しい街が顔を見せる予定と聞いている▼総会資料の“会員近況短信”は、お互いを知る便りとして、一層のご協力をお願いします。また資料の“会員異動”により、お手持ちの名簿をご訂正下さい。(会報編集事務局)

お食い初め

アジサイワールド株式会社

代表取締役 後藤 秀文

初夏から調布稲門会会報（紺碧）に寄稿の御機会を賜り、非常に光栄に思っております。

私は調布市内でケータリングサービス会社アジサイワールドにて勤めさせていただいております。

当社は昭和41年に寿司屋として調布駅東口に柳寿司を開店、その後、深大寺北町にてアジサイワールド開業、これより冠婚葬祭事業に取り組む。

この度はお食い初めの儀式についてお話をさせて頂きます。

お食い初め・・・とは、赤ちゃんが生まれて100日か120日に行われる「初めて大人と同じ食べ物を口にする祝いの儀式」のことで「百日(ももか)の祝い」とか「ひやくにちの祝い」ともいわれます。

実際に食べさせるのではなく「真似事(まねごと)」をするものでこどもの健やかな成長と幸せを願って行われてきた、日本のすばらしい伝統文化です。

お食い初めの料理は、昔のしきたりで本膳は一汁三菜とってご飯を山盛りにし、その上に小さく丸

めた握り飯を2、3個のせました。汁の実は鯛か鯉、焼き物は金頭(ほうぼう科)の魚と決まっています。山村では魚の種類も限られていましたのでその地方によっても異なります。ひとつのお祝い事ですから、あまり形式にとらわれずに赤飯に尾頭付きの鯛で形を整えてもいいし、離乳食で本当のお食い初めをさせてもよいでしょう。地域によっては、丈夫な歯が生えるように「歯固めの小石」と長生きを祈って「梅干し」を添える習慣もあります。

日本にはこのような伝統的な食文化があり、食を通して人が人を思う心、伝えたい思い・・・素敵な習慣があります。

当社は【思いをかたちに変えてお届けする】をモットーに美味しい食事、安全な食事をお届けさせて頂きたい所存であります。

文末になりましたが、皆様の更なるご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

<p>思いをカタチにするそれを支える プロの技がここにあります 冠婚葬祭・出張料理・パーティ料理・金庫料理 <b>アジサイワールド(株)</b> 電話 〇二〇・五五五・七八八 FAX 〇四二・四九九・七七八 <a href="http://www.aizaisai.co.jp">http://www.aizaisai.co.jp</a></p>	<p><b>ギフト</b> <b>京王百貨店調布外商営業所</b> 住所 〒182-0024 東京都調布市市田一・四五・一 電話 〇四二・四八七・九〇一一 FAX 〇四二・四八七・九〇一一</p>	<p><b>桜田倶楽部</b> 東京テニススケルッジ <b>会長 秋山 一</b> 住所 〒182-0017 昭和2段経年 電話 〇四二・四八二・二二〇九</p>	<p>深大寺そば 創業文久年間 「宴会・俳句会・御法事」 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町五・十二・十 電話 〇四二・四八二・三五七八 FAX 〇四二・四九九・六六五五</p>	<p>不動産賃貸 <b>中村不動産管理株式会社</b> 代表取締役 中村 俊一 住所 〒182-0035 東京都調布市上石原一・〇・一 電話 〇四二・四八二・二〇三三</p>	<p>リフォーム 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 鈴木 光孝 住所 〒182-0023 東京都調布市染地三・五・六五 電話 〇二〇・〇八〇・二四二二</p>
<p><b>野村證券株式会社調布支店</b> 支店長 松下 明希子 住所 〒182-0024 東京都調布市市田一・三六・九 電話 〇四二・四九八・六〇一一(代) FAX 〇四二・四九八・六〇九九</p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役会長 林 和男 取締役社長 林 清一 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町二・五六・三 電話 〇四二・四八六・二二二〇 FAX 〇四二・四八六・二二二〇</p>	<p><b>堀紙管株式会社</b> 住所 〒182-0034 東京都調布市下石原三・六二・一 電話 〇四二・四八七・二二五四 FAX 〇四二・四八七・二二五四</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 秋 沢 淳雄 住所 〒182-0024 東京都調布市市田三・一・一 電話 〇四二・四八二・四五八五 FAX 〇四二・四八二・四五七二</p>	<p>早稲田大学商議員 <b>早稲田大学調布稲門会会長 河野 瑠美</b> 自宅 〒182-0013 調布市深大寺南町四・三九・三 電話 〇四二・四八八・六七八一 FAX 〇四二・四八八・六七八一</p>	<p>早稲田大学商議員 <b>早稲田大学調布稲門会副会長 元 木 勇</b> 自宅 〒182-0003 調布市若葉町二・二二・一〇 電話 〇三・三三〇〇・四五五四(代) FAX 〇三・三三〇〇・八七二八</p>